

山形で放射線検査説明を再考する 座長集約

JART検査説明委員会 委員長 江端 清和
JART検査説明委員会 委員 荒木 隆博

JART検査説明委員会は平成22年4月30日の厚生労働省医政局長通知「医療スタッフの協働・連携によるチーム医療の推進について」（医政発0430第1号）を受け発足した。検査説明委員会は国民一人ひとりが安心して放射線検査を受けていただくことを目標としている。全ての診療放射線技師が責任をもって放射線検査の説明にあたり、適切な医療行為を患者に提供できることが理想である。

第13回東北放射線医療技術学術大会において、東北では初めての検査説明に関するセッションを山形で開催することができた。参加者がこのシンポジウムを機に、東北地域における検査説明業務への関心を深めていただき、その重要性を理解していただくことを目的とした。それにより良好な放射線検査の提供に繋がるものと考えている。

シンポジウムでは山形県立中央病院の荒木先生からJART検査説明委員会の取り組みについて講演いただき、令和時代の検査説明の一例を示していただいた。次に、適切な患者満足度が評価可能な患者経験価値の視点から、検査説明の有用性について、函館五稜郭病院の小林先生にご講演いただいた。そして、東北地域において先進的に運用されているご施設である星総合病院の続橋先生から、診療放射線技師による検査説明業務の実際についてご講演いただいた。最後のディスカッションでは活発な意見交換がなされ、診療放射線技師の重要な業務である検査説明について、多くの参加者と共に山形の地で再考することができたと言える。

これらの事実は、東北地域における放射線検査説明業務普及に資する大きな一歩と考える。